



昔の記念碑台を歩く
六甲山小学校の子どもたち

**第47回テーマ：
六甲山小学校
第1期生の思い出**

講演内容

- ①子どもの目で見た六甲山の生活
- ②六甲山小学校ができるまで
- ③分教場ができたころ
- ④六甲山の当時の様子

実施日：平成19年2月17日（土）
午後1時～3時50分

場 所：六甲山YMCA 里見ホール



講師：村上 定広さん

プロフィール

1937年生まれ、神戸市出身。生後すぐ両親が六甲山上に茶店を開業する。以来25年間六甲山上で暮らす。1949年、六甲山小学校最初の卒業生になる。

春雪が舞う中でのボランティア活動

午前中の近畿自然歩道の整備活動には9名が参加しました。今回は、記念碑台下の散策路入口でツル植物の伐採に着手しました。大作業になるので、来月も引き続いて実施する予定です。

また対象地域の区割りをを行い今後の整備予定を検討しました。途中から突然雪が降ってきましたが、かじかむ手を揉みつつ充実した整備活動をしました。

六甲山小学校の仲間

市民セミナーには37名が参加。六甲山小学校のはじめての卒業生から、現役の六甲山小学校の生徒まで幅広い年齢層です。

また六甲山小学校代々の校長・教頭や先生方も参加されました。交流会では、参加者全員で六甲山小学校の校歌を熱唱する場面もあり、大変賑やかな市民セミナーになりました。

「当時を思うと涙が出る」と先輩の言葉

六甲山小学校ができる前は山麓の小学校にアイスロードを歩いて通っていたという村上さん。

当時の食糧難と六甲山上での生活の大変さを実感した先輩の言葉として紹介していただき、昭和初期から戦後までの六甲山について村上さんの体験談を中心にお話していただきました。



分教場の卒業式

(中央：村上さん、右横：林先生)

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

「70年を支えた分教場の1年」と村上さん

分教場ができた当時のよろこび、通った1年間でどんなものだったのか、一生の恩師である林先生との結びつきなど思い出を交えながら語っていただきました。

最後に昔の六甲山の写真を見ながら当時の様子をお話していただきました。

昭和前半の六甲山事情を知った

村上さんから昭和前半に焦点をあてて六甲山上の生活を語っていただきました。一般の人にはあまり知られていない内容で当時のくらしぶりを実感することができました。

また現在の生活や教育の原点を見直す、忘れてはいけない大切な事を教えていただきました。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 大石 玲子 さん

現六甲山小学校に通い山の住民となった私には全て興味深い内容でした。小学校の面々は市内各地から集まり毎日昔に負けずのびのびと育っています。先生方も豪放かつ繊細に子どもを見てくださいます。村上氏の姿に50年後、息子が小学校の思い出をにこやかに語る姿を想像してしまいました。六甲山には古い空き家がたくさんあります。皆様に山で暮らしてほしいと願っています。



【助成金をいただいている機関】

(財) 大阪コミュニティ財団 (東洋ゴムグループ環境保護基金)、コベルコ環境保全基金

公益信託自然保護ボランティアファンド

ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金



第47回テーマ：六甲山小学校第1期生の思い出



第47回市民セミナーの流れ

市民セミナー

1. あいさつ：13:00～13:15
2. 講演：13:15～15:00
3. 交流会：15:00～15:30
4. 質疑応答：15:30～15:50

講演

- ①子どもの目で見た六甲山の生活
- ②六甲山小学校ができるまで
- ③分教場ができたころ
- ④六甲山の当時の様子



里見ホールで記念撮影(下段中央 村上さん)

講演の挨拶(村上定広さん)

何の肩書きもない一介の男の思い出話にお越しいただきありがとうございます。レクリエーションの場としてではなく、実際にここに住んだものとして、見たこと聞いたこと、体験したことをお話して、六甲山の様子を少しでもわかっていただけたらな、と思います。



解説する村上さん

講演内容

1. 子どもの目で見た六甲山

■「当時を思うと、涙が出る」と先輩

六甲山での生活は、麓の人とは逆になる。ハイカーと逆で、朝に山を下り、夕方に上らないといけない。山の生活は不便な上に、食糧難の時代でもあった。子どもの頃は、「なんでこんなところに住んだんや」と親を恨みもした。

■六甲山には夢があった

昭和12年、私が生まれてすぐ、両親が六甲山上で茶店を開業した。その頃の六甲山は別荘が2百数十軒あり、阪急や阪神の開発が盛んだった。六甲山には夢があった。父は一旗揚げようとして六甲山に上がってきたのだと思う。

茶店はツゲ池の裏手にあり、ケーブルの利用客で賑わっていた。山上のちょっとした社交場だった。

六甲山略年表(昭和前期)

年	出来事
昭和2	阪神が六甲山の土地を購入、開発を始める
昭和6	六甲ロープウェイ開業
昭和7	六甲ケーブル開業
昭和13	阪神大水害
昭和16	太平洋戦争がはじまる
昭和19	六甲ロープウェイ撤去・六甲ケーブル運休
昭和20	神戸大空襲、終戦
昭和21	ゴルフ場を米軍が接收
昭和24	唐櫃小学校六甲山分教場が開校
昭和25	分教場が九鬼山荘へ移転・開拓
昭和27	分教場が六甲山小学校として独立

2. 六甲山小学校ができるまで

■アイスロードを歩いて通学

六甲小学校に入学した。入学した当時、ケーブルは運休中だったので、アイスロードを歩いて通学した。小学校1年生には厳しい道で、大変なことだった。翌年に唐櫃小学校に転校になると、今度はシュラインロードを歩いた。通学は靴ではなく、わらじだった。わらじは3日ぐらいでダメになるので、スベアをぶら下げて通学した。



わらじ

■道草ばかりで勉強は転落の一途

2年生になり、しばらくすると道草ばかりで学校にほとんど行かなくなってしまった。山の中に隠れ家をつくり、夏はクワガタやカブトムシ採りに、秋はマツタケ採りに夢中になった。

唐櫃小学校の先生の名前も思い出せない。1年間何をしていたのかと思う。

■ゴルフ場でキャディになって英会話をこなした

小学校3年生からは、進駐軍に接收された六甲山ゴルフ場でキャディのアルバイトをした。背丈より高いゴルフバッグを担ぎ、米軍将校相手に英会話もこなした。「ウォーター」を「ワラ」と言うような会話は、中学に入ると全く使えなかった。大人になってからロサンゼルスのレストランに行ったら、「ウォーター」で通じず、試しに「ワラ」と言ったら通じた経験がある。



六甲山上の地図(昭和11年)

A	村上茶屋	D	九鬼山荘(六甲山小学校)
B	記念碑台	E	六甲ロープウェイ
C	六甲山ホテル		

3. 分教場ができたころ

■六甲山上の人たちの思いで開校できた分教場



六甲山分教場の開校式での記念撮影

山上には学校に行かない子どもがいたので、山の人たちは「何とかしないとイケない」と思っていた。昭和24年に六甲山分教場が開校できて、山の人たちはみんな本当に喜んだ。写真の皆さんの瞳が輝いている。(生徒57名、真ん中に林先生)

■隙間風ばかりの古い教会が校舎だった

星野池にあった古い教会が分教場になった。冬は窓や床から隙間風が吹き込んだ。ひとつのストーブを60人近くで囲み、みんなで弁当を食べた。

先生は3人だけ。分教場ができたとき、私は6年生だったが九九までしかできなかった。「これでは中学にあげられない」と日曜日も林先生のお宅で指導していただいた。先生のご苦労は計り知れない。

■恩師の林先生との思い出

昭和25年の大晦日に先生を訪ねた。ストーブの前に集まり、ラジオで紅白を聞きながら一晩を明かして、元旦に朝帰りをした。先生には朝までつきあってもらった。

先生のところに行けば叱ってもらえるありがたさがあった。教えていただいたのは1年だけだったが、卒業してからも事あるごとに先生を追いかけていった。



小学校での勉強風景

4. 六甲山の当時の様子(写真で紹介)



九鬼山荘の前での記念撮影(昭和25年頃)

質疑応答

校章のエピソードは？

[デザインをされた池上さんより]

六甲山だからああいうイメージに六甲山小学校校章した。学校は勉強するところやから、ペン先を頭につけた。自分のものに決まったとは知らなかった。六甲山小学校の校歌は？：校歌の歌詞を見ながら全員で合唱しました。



←六甲山小学校校歌
(一部抜粋)

70年の人生を支えた1年(村上さん)

5年生までは下の学校に通っていました。ちんたらした学生生活でした。もう1年、分教場の開校が遅れていたなら、六甲山小学校とは全く関係のない人間でした。そのまま中学生になっていたらどんな人生を歩んでいたのだろうか、背中に冷たいものを感じます。たった1年でしたが、その1年のお陰で人並みの人生が歩めたのではないかな、と思います。

事務局より

村上さんのお話から、昔の六甲山上で生活することの大変さを知りました。分教場の開校に結集したエネルギーや、家族同然の師弟関係に感動しました。現在の生活や教育の原点を見直すヒントになります。六甲山小学校の活躍を期待します。

◆参考・配布資料など

- ・昔の写真 ・わら草履 ・昭和11年の地図
- ・新聞(六甲山小学校の紹介記事、神戸大空襲の記事)
- ・スライドショー「六甲山小学校第1期生の思い出」
- ・六甲山の手作り地形図
- ・六甲山年表(昭和初期からの六甲山とその周辺でのできごと、戦後の六甲山とその付近でのできごと)
- ・その他六甲山に関する書籍

◆参加者の声～アンケートより～

- ・六甲山の歴史についての資料の多さに感激しました。
- ・六甲山を愛する人の集い、とてもいい感じでした。

◆参加者：37名(順不同・敬称略)

村上 定広	浅井 審一	八木 浄	杉本 静子
兼定 力	林 陽一郎	堀井乃武子	吉田 久子
古林 良春	古林賀代子	中務 勝子	池上 稔枝
橋本香津子	青木 孝子	長谷川友彦	大石 玲子
大石 昂生	路次 威彦	小野 亨子	大上 卓男
馬場 典子	矢仲 英俊	新崎 利文	南馬 進
酒井 誠	村上 敦子	玉起 彰三	高光 正明
鈴木 武	村上 泰道	原田 福子	米村 邦稔
尾崎 尚子	香西 直樹	寺田 啓	堂馬 英二
堂馬 佑太			

村上さんへのお問い合わせは事務局まで
〒657-0028 神戸市灘区森後町2-1-3 山田ビル2階
六甲山自然保護センターを活用する会
TEL: 078-856-4756 FAX: 078-856-6616
E-mail: info@rokkosan-katusyo.com